

クラウドファンディングによる地域振興フォーラムの開催

中国財務局では、地域課題の解決に向けたNPO法人や地方公共団体等へのヒアリングを踏まえ、「クラウドファンディングによる地域振興フォーラム」を開催。

概要

- 地域振興に尽力するNPO法人や、地方公共団体等にヒアリングしたところ、資金調達を課題とする意見が多くあった。
- また、その対策としてクラウドファンディング(CF)に興味を持つ人が多く、「CFの仕組みや種類、メリットについて知りたい」、「成功の秘訣や失敗事例・傾向を聞きたい」、「地方公共団体の活用事例が知りたい」といった声が寄せられた。
- このような声を受け、平成31年3月18日にCF事業者・プロジェクト実行者・地方公共団体が、CFの仕組み・種類のほか、成功の秘訣、課題等の説明を行うフォーラムを開催。
- また、CFの活用を検討している団体等がCF事業者と個別に相談できる場を提供。



NPO法人・地域団体、金融機関、地方公共団体等、約80名が出席



Readyfor
三ツ瀬氏



FAAVO広島
江角氏



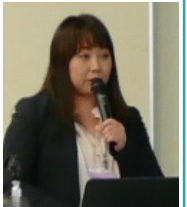
カナエンサイ夢
黒神氏

取組の成果

- フォーラムでは、各登壇者から、CFに関する基本事項のほか、「継続的な情報発信が成功の秘訣」、「支援が想定されるターゲットに情報が届いてない」といった成功・失敗事例や、地方公共団体の取組等をプレゼン。
- 出席者からは、「実際にCFを実行された方の経験談を聞いて良かった」、「地方公共団体でも、CFで住民活動を支援することを検討したい」といった声が寄せられた。
- 個別相談会では「トレイルラン(山岳ランニング)参加者の交流拠点を整備したい」、「休耕田を再生し、米づくりを復活させたい」など、9件の相談があった。
- 当局では、出席者からの意見を踏まえ、今後も広島以外の管内において同様のフォーラム展開を検討。



廃校/スリミア
藤田氏



未来を旅する
編集会議
尾崎氏



広島県
河内氏



神石高原町
矢川氏



CF事業者との個別相談

平成30年7月豪雨災害に対する中国財務局の対応

- 金融関係の対応として、被災後速やかに、金融機関に対し金融上の措置を適切に講じるよう要請したほか、被災者向けの金融相談会や、弁護士会等と連携した金融機関向けの説明会等を開催
- 国有財産関係の対応として、被災者向けの宿舍や復旧作業等で利用可能な国有財産を地方公共団体に提供
- 災害査定立会は、被災した地方公共団体からの要請に遅れを生じさせることなく、全ての立会を終了
- 人的支援として、被災した地方公共団体に職員を派遣し、支援物資の運搬や仕分け等の作業を実施

概要

- 平成30年7月豪雨により、当局管内は甚大な被害を受けたことから、管内職員を挙げて復旧に向けた活動を実施。
- 金融関係では、金融機関に対し、災害救助法が適用された地域の被災者に金融上の措置を適切に講じるよう要請し、その後、金融相談会や、弁護士会や地域金融機関等と連携し住宅再建に関する無料相談会を開催したほか、弁護士会等と連携し被災者の二重ローン問題解決を目的とする「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」の金融機関向け説明会等を開催。
- 国有財産関係では、被災者向けの宿舍や、復旧作業等で利用可能な国有財産を被災した地方公共団体へ情報提供し、合同宿舍33戸(延べ)を提供。
- 災害査定立会に関しては、職員の4分の1強に当たる100名超に併任発令を行ったほか、他の財務局・本省からの応援を受けて対応。その結果、被災した地方公共団体からの災害査定立会要請に遅れを生じさせることなく、3月中に全ての立会を終了。また、災害発生に伴う緊急な資金需要への融資(災害つなぎ資金)や定期償還日の支払期日の延長など、財政融資資金にかかる財政上の措置を被災した地方公共団体に周知。
- 人的支援として、被災した地方公共団体からの要請により、職員を派遣し、支援物資の運搬や仕分け等の作業を実施。

取組の成果

- 金融関係について、住宅再建に関する無料相談会は、平成30年度に3回開催(いずれも広島県内)。相談会では、「リフォームや自動車の購入が必要だが被災者向けの制度を教えてください」等の相談が寄せられた。当局では、息の長い取組として今後もこの相談会を継続する予定。
- 人的支援について、被災した地方公共団体を訪問する中で、首長から職員の派遣要請があったことから、岡山財務事務所では、8月に9名の職員を派遣。派遣先の首長より職員派遣に対する感謝の言葉を頂いた。当局では、引き続き、必要に応じて地方公共団体と連携を行う予定。



広島県内での無料相談会(31年2月)



派遣職員の作業の様子(8月)

金融セミナー「家族で学ぼう！お金との上手な付き合い方」の開催

金融に関する知識を親子で楽しく身につけることを目的として、鳥取県警察本部など官民が連携し、夏・冬休み中の親子を対象とした金融リテラシー向上セミナーを継続的に開催。

(平成28年の金融リテラシー調査において、鳥取県は全国42位の成績。また、29年の県内における特殊詐欺被害は、件数・額とも大きく増加。こうした状況を踏まえて開催。)

概要

1回目(夏休み)は、鳥取県八頭郡八頭町においてPart1～3の三者がセミナーを開催(親子約30名が参加。)。2回目(冬休み)は株式会社鳥取銀行が加わり、鳥取市において次のような4部構成で開催(親子約50名が参加。)

【Part1】ネクストシフト株式会社

賢く増やして貯める！ 人生に必要なお金を知ろう

子どもたちがゲームを通してお金の役割等を体験。大人向けに人生の3大費用を確保する方法や、金融商品に関する基礎知識を説明。

【Part2】鳥取財務事務所 つみたてNISAについて知っておこう

益々高まる資産形成の必要性。投資初心者でも始めやすいつみたてNISAの制度概要を説明。

【Part3】鳥取県警察本部 インターネット犯罪から身を守ろう！

インターネット犯罪被害に遭わないようにするために、子どもたちがつよいパスワードの作り方を体験。

【Part4】株式会社鳥取銀行

銀行ってどんなところ？ ～銀行の中を探検しよう！～

金庫や営業室など、普段見ることのできない銀行内部を探検したほか、子どもたちは1日行員として札勘定に挑戦。

取組の成果

取組の成果

- 「親子で楽しく体験しながら学んでもらう」ことを念頭に、四者で内容を検討。鳥取財務事務所は、安定的な資産形成の必要性やつみたてNISAの説明に加え、子どもたちには1億円レプリカの重さを体験してもらうなど、親子で楽しめるよう工夫。
- 来場者からは、「子どもを飽きさせない工夫があり有難かった」、「学校・地域等でも参加できると楽しいと思う」などご好評をいただいた。



今後の展開

- 次回(春休み)は 上記四者に鳥取県金融広報委員会、倉吉信用金庫、倉吉警察署が加わり、鳥取県倉吉市で開催するなど、官民連携を拡大しながら継続予定。